

森から都市へ贈られる、野生の野性。そのコントラストは、わたしたちのいま。

ayako suwa

諏訪綾子

T
A
L
I
S
M
A
N

in
the woods

内臓であじわう

循環のテイスト

山梨アートプロジェクト 2022

2022年10月8日(土) - 10月30日(日)

会場：芸術の森公園内茶室「素心菴」/ ギャラリー・エコー (美術館エントランス)



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

※会期が変更になる可能性がありますので来館前に当館ホームページをご確認ください。 ※入場規制をする場合があります。

観覧無料 開館時間：9:00 - 17:00 (入館は16:30まで) 休館日：10月11日(火)・17日(月)・24日(月)

主催 山梨県立美術館 協力 株式会社ポイントオブビュー / 株式会社リトル・トリー / fabula 株式会社 / 室島精工 / 一般社団法人 養老の森 / 道志村

令和4年度 文化庁 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業



photo_ Hiroshi Iwasaki

森には

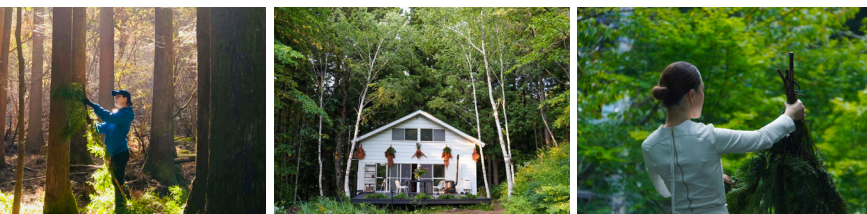
野生の野性が満ちていて
その美しい気を
集める人たちがいる。

タリスマンは、そんなふうに
森と共に生きる人々によって
つくられる。

そんな“魔除け”であり
“御守り”であるタリスマンは
いつからか
「循環のあじわい」への
“招待状”になった。

「山梨アートプロジェクト」とは、アーティストが作品制作をとおして「山梨」の新たな解釈を行いアートを介した美術館と地域の繋がりの創出を目的とした事業です。今年度は食を表現媒体として扱い、新たな問いや発見をもたらす作品で国際的に活躍するアーティストの諏訪綾子を招聘します。諏訪は 2019 年より山梨県道志村の森の中にアトリエを構えています。2020 年、諏訪は林業では活用されることのなかった杉や檜の枝葉を束ねた《タリスマン》（「お守り」や「魔除け」を意味する）という作品を制作し始めます。本展では諏訪と森に関わる人々で《タリスマン》を制作し、当館が位置する芸術の森公園内の茶室「素心菴」に展示、循環をあじわう体験へと誘います。アートをとおして県内の森に親しむ、重層的なアートプロジェクトです。

内臓であじわう循環のテイスト TALISMAN in the woods



パフォーマンス 「森からのタリスマンを受け取るリチュアル」

展示室内で諏訪綾子による水源地の森からのタリスマンを受け取るリチュアルを開催します。

日時 2022年10月16日(日)29日(土) 各日とも ①14:00 - ②16:00 -

場所 芸術の森公園内茶室「素心菴」

リチュアルに参加しタリスマンを受け取る方、リチュアルを観覧する方を募ります。

※申込方法などについては当館ホームページをご覧ください。

パフォーマンス 「タリスマンを森へ還すリチュアル」

2023年3月に水源地の森で、諏訪綾子によるタリスマンを森へ還すリチュアルを開催します。

日時 2023年3月開催予定

場所 山梨県南都留郡道志村

※申込方法などについては当館ホームページをご覧ください。

トークイベント 諏訪綾子(アーティスト)×大野航輔(フォレストアー)

諏訪綾子のアトリエがある山梨県道志村で「人と山を結び直す」をテーマに、現代における林業のあり方を探求するフォレストアー大野航輔氏が対談。お互いの活動、林業とアートやどのようにして「タリスマン」が生まれたかについてお話しします。

日時 2022年10月15日(土)13:30 -

場所 山梨県立美術館 講堂

定員 50人 ※参加無料

申込方法 お電話でお申込みください。(Tel: 055-228-3322)

申込期間 2022年9月15日(木) - 10月14日(金)

水源の森からマルシェ

作品「タリスマン」が生まれた背景である、山梨県の

森林や水源地の人々によるマルシェを開催します。

私たちが毎日あじわい、からだの中を巡っている水。

その恵みである水源地ならではの産物を紹介・販売します。

森と共に生きる智恵を、五感であじわう体験へ、ようこそ。

日時 2022年10月15日(土)16日(日)10:00 - 15:00

場所 芸術の森公園

※各イベントは延期または中止になる可能性があります。

※ご来館前に当館ホームページを必ずご確認ください。

諏訪綾子 Ayako Suwa アーティスト

石川県生まれ。
金沢美術工芸大学卒業後
2006年より food creation の活動
を開始、主宰を務める。欲望、好
奇心、進化をテーマにした食に関
する作品をパフォーマンスアート
インスタレーション、ダイニング
エクスペリエンスなどの手法で
数多く発表。

本能的な無意識の感覚に訴える
ことのできる表現の媒体として
「食」を扱い、感情、記憶などの
内在する感覚を「あじわい」で
伝えることで、体験者に新たな
問いや発見をもたらす作品が特徴。
美食でもグルメでもない、栄養源
でもエネルギー源でもない新たな
食の可能性を追求している。

2008年、金沢 21 世紀美術館で初
の個展「食欲のデザイン展 感覚
であじわう感情のテイスト」を開
催。現在までに東京・金沢・福岡
シンガポール・バリ・香港・台北
ベルリン・バルセロナなど国内外
で「ゲリラレストラン」、ダイニン
グエクスペリエンス「Journey on
the table」を開催。2014-15年
金沢 21 世紀美術館開館 10 周年
記念展覧会「好奇心のあじわい 好
奇心のミュージアム」を、東京大
学総合研究博物館とともに開催。
2019年「Journey on the
Tongue」が EU とアルスエレクト
ロニカによるアワード「STARTS
Prize」の Winners に選定される。
2020年「記憶の珍珠 諏訪綾子展」
資生堂ギャラリー開催。

www.foodcreation.jp

わたしたちが口に
する水は
どこから来て
どこへ向かうのか。

わたしたちは
どこから来て
どこへ向かうのか。

時空を超えて
循環するギフトに
わたしたちは
気づけるだろうか。

諏訪綾子



「記憶の珍珠 諏訪綾子展」資生堂ギャラリー 2020



「TALISMAN in the woods」KAMU kanazawa 2021



当館HP



種をまく世界がひらく

山梨県立美術館
Yamanashi Prefectural Museum of Art

Tel. 055-228-3322 / Fax. 055-228-3324

山梨
アートプロジェクト

交通のご案内

〒400-0065 山梨県甲府市貫川1-4-27

●中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

▶ 料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て200m先を左折、西条北交差点を左折、アルプス通りを約2km直進
貫川交番前交差点を左折、国道52号を約1km、左側。

●JR中央本線甲府駅より

▶ 甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より御勤使・竜王駅経由敷島営業所・大草経由韮崎駅・貫川団地
各行ききのバスで約15分「山梨県立美術館」下車。
▶ タクシーで約15分。